

日本赤外線学会誌 投稿規定

本学会誌は日本赤外線学会が発行する和英混載誌で、赤外線に関する論文、解説記事および学会として必要な記事などで構成される。

1. 投稿者の資格

投稿者は原則として本会会員に限る。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

2. 学会誌の構成と内容

区分	内容	制限頁数
論文	赤外線に関連した原著の研究報告で価値のあるもの	8
総説	著者自身の研究を中心とする、その分野の進歩の総合的解説	10
招待論文	特集の主旨に相応しいもので、本学会が内容の価値を認め執筆を依頼した論文	8
技術ノート	赤外線に関する技術報告、装置や測定ノウハウ、データなどの簡潔な紹介。製品紹介を含めても良い。	4
最近の展望	最近の進歩が著しい特定のテーマについての研究状況の解説	6
談話室	技術、研究、会員の動静、学会活動に関する随筆風小文	2
赤外線 Q&A	赤外線に関する疑問とやさしい回答	1
国際会議報告	関連のある国際会議の内容などの紹介	3
研究室訪問	大学や企業の研究室の紹介	2

上記規定の他、編集委員会の企画に応じた内容の記事を掲載することができる。

3. 投稿規定

著作権・出版権

「日本赤外線学会誌」に掲載された論文の著作権・出版権は論文が受理された後日本赤外線学会に帰属する。「日本赤外線学会誌」に受理されたあとで、その論文の一部または全部をそのまま他の雑誌に転載しようとする場合、或いは他の雑誌に印刷された後でその論文の一部又は全部を「日本赤外線学会誌」に転載しようとする場合には、「日本赤外線学会誌」編集委員会の承認を必要とする。またその論文が「日本赤外線学会誌」或いはその他の雑誌に掲載されたものであることを明記しなければならない。他文献を転載した場合、出版元への転載許可手続きは著者が行う。

他の論文誌に投稿中または掲載済みの論文を「日本赤外線学会誌」に投稿することはできない。

4. 総説および論文、技術ノートの投稿から掲載までの手続き

(1) 原稿の作成

本学会ホームページにある Microsoft Office Word 版のテンプレートをダウンロードして、そのファイルのフォーマットに従って原稿を作成すること。原稿の作成は「執筆要領」に従うこと。

(2) 投稿先

投稿の際には以下の書類一式を編集委員会論文担当係まで送付すること。

- ・ 論文投稿票。
- ・ 原稿ファイル：Word ファイルとともに、pdf ファイルも用意して、2つの原稿ファイルを送ること。
- ・ 送付先：

日本赤外線学会 学会誌 編集委員会 論文担当係
JSIR-ed (a) jsir.org (a)を@に変えて下さい。

(3) 審査

投稿された論文は自主投稿、依頼にかかわらず、編集委員会は査読者ないしは閲読者を決めて審査を依頼する。論文投稿

改訂日：2012年5月10日

者は、論文投稿票を用いて査読（閲読）候補者を申請することができる。

総説、招待論文、技術ノートの区分に投稿された原稿は、編集委員会が閲読者を決めて閲読を依頼する。

論文の区分に投稿された原稿は、編集委員会が査読者を決めて査読を依頼する。投稿された論文等の掲載の可否は、査読者の意見に基づいて編集委員会で決定される。

(4) 受理

編集委員会は査読報告に基づき、論文掲載の可否、或いは修正の要・不要を速やかに判断し、執筆者に通知する。

(5) 著者校正および別刷り、カラー印刷について

投稿者は、受理された後に著者校正を行うことができる。ただし、内容に関する変更は認められない。

別刷りを希望する場合は、著者校正時に別刷り申込用紙で申し込むことができる。

(6) カラー掲載について

カラー掲載は有料で掲載可能である。カラー掲載を希望する場合は、論文投稿票に明記すること。